

各位

株式会社安評センター

## 「鼻部ばく露吸入実験装置 SIS-R24-B型」導入のお知らせ

トランスジェニックグループの株式会社安評センター（代表取締役社長：福永健司、静岡県磐田市）は、この度、鼻部ばく露吸入実験装置 SIS-R24-B型を導入いたしましたので、ここにお知らせいたします。

当社ではこれまで、呼吸器系に対する被験物質の毒性試験および薬理試験を実施する場合、直接気管内に投与するばく露方法を用いて評価してまいりましたが、今回、鼻部ばく露吸入実験装置 SIS-R24-B型を導入したことによって、実際にばく露する経路と同様に、吸入により被験物質を投与できるため、OECDテストガイドライン<sup>1)</sup>（急性吸入毒性試験：TG403, TG436）に従った一般化学品や農薬の吸入毒性試験<sup>2)</sup>および吸入医薬品等の評価試験の受託が可能となります。

鼻部ばく露型とは、被験物質を含む気体を実験動物の鼻呼吸によりばく露させるもので、本機種は、吸入チャンバーの気積が小さいことから、従来の鼻部ばく露吸入実験装置より投与物質の消費量を節約することができ、給・排気分離構造によって動物の呼気ガスを他の動物が吸入することを防ぐ機能も備えています。また、今回、ラットおよびマウスを用いた試験に対応するため、2種類の動物ホルダーを取り揃えました。粉じん発生装置およびミスト発生装置も搭載し、粉体や液体の被験物質にも対応することが可能です。



当社は、より良い社会の実現に貢献するため、今後も、設備と技術を充実させ、高い科学性と信頼性に立脚した化学物質の安全性評価を推進してまいります。

- 1) OECDテストガイドラインとは、化学物質等の物理化学的性質、生態系への影響、生物分解及び生物濃縮ならびにヒト健康影響などに関する知見を得るための国際的に合意された試験方法です。その試験結果は、化学物質分類の安全性評価に幅広く利用されています。
- 2) 吸入毒性試験とは、実験動物の呼吸運動により呼吸器を通じて一定量の被験物質を投与し、その毒性を評価する試験です。



### 【株式会社安評センターについて】

多数の製薬企業・化学企業等からの基金をもとに1978年に設立された公益財団法人食品農医薬品安全性評価センターが前身です。GLP（Good Laboratory Practice：優良試験所基準）及びAAALAC（国際実験動物ケア評価認証協会）認証施設において、科学性と信頼性に立脚した安全性評価を通じて人類の幸福に貢献することを使命と位置づけ、医薬品、食品、食品添加物、農薬、一般工業化学物質等の化学物質の安全性を評価するための各種試験研究を受託しています。

### お問い合わせ先

株式会社 安評センター 事業推進部

〒437-1213 静岡県磐田市塩新田 582-2

E-Mail : [contact@anpyo.co.jp](mailto:contact@anpyo.co.jp) URL : <https://www.anpyo.jp/>